

別紙

I. 事業評価総括表

単位：円

| 番号 | 措 置 名                                | 交付金事業者名又は<br>間接交付金事業者名 | 交付金事業に要した経費 | 交付金充当額    | 備 考 |
|----|--------------------------------------|------------------------|-------------|-----------|-----|
| 1  | 公共用施設に係<br>る整備、維持補<br>修又は維持運営<br>等措置 | 雲南市                    | 1,360,800   | 1,360,800 |     |

Ⅱ．事業評価個表

|                       |   |                 |                        |
|-----------------------|---|-----------------|------------------------|
| 番号                    | 措置名   | 交付金事業の名称        |                        |
| 1                     | 公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置  | 成木導流堤用水路管理道改修工事 |                        |
| 交付金事業者名又は間接交付金事業者名    |   | 雲南市             |                        |
| 交付金事業実施場所             |   | 雲南市三刀屋町古城地内     |                        |
| 交付金事業の概要              | 成木導流堤用水路組合が管理する用水路の管理道は、道幅が狭いうえに、長年、用水路からの水のオーバーフローにより管理道が崩れるなど、歩き難い状況となっています。このような中、安定した農業用水を確保するとともに、近年、高齢化が進み、これまで以上に水路清掃作業等の管理が困難となっていることから、地元組合員等の負担軽減及び効率化を図るために、管理道の危険な箇所<br>の改修工事を実施します。<br>改修工事内容は、盛土・コンクリート工により管理道19mを改修します。  |                 |                        |
| 総事業費（円）               | 1,360,800   | 交付金充当額(円)       | 1,360,800              |
| 交付金事業の成果目標            | 成木導流堤用水路は、三刀屋川上流の殿河内地内から取水し、下流側古城地内までの全長約2.7kmの用水路で、古城地内の水稲、野菜、ぶどう等農作物の農業用水を確保するために整備されました。当時、現在の取水場所より下流での動力揚水ポンプ整備を検討されましたが、受益者での用水路管理が可能ということで、工事費が低廉な用水路整備に至った経緯があります。また、近年、後継者不足などにより耕作を放棄する地域が増加している中、この古城地内成畑地域では、田畑約3.83haの耕作を継続されており、当地域の農業振興及び持続可能な営農活動を推進するために、重要度が高い用水路であります。しかしながら、現在、高齢化（組合役員の大半が70歳以上、水路の一部を管理する成畑自治会の高齢化率約40％）に伴い全長2.7kmの用水路管理が困難な状況になっています。また、特に三刀屋川沿いにある用水路管理道は、道幅が狭いうえに、大水などの影響で崩れてきており、用水路清掃作業の負担増や上流側の水路沈下により水が流れ難いなどの課題が生じています。このような中、歴史あるこの用水路の農業用水管理の安全確保と効率化により、安定した用水の供給と農作業の安全を図ることで、地域住民の安心・安全を確保することを目標とするとともに、今後も、 <del>発電施設等の設置及び運転の円滑化を図っていきます。</del> |                 |                        |
| 交付金事業の成果指標            | 上記、目標を達成するためには、平成28年度において改修が必要な上流の管理道54mのうち19mの改修率35％を目指しますが、全長2.7kmの用水路には、まだまだ管理上危険な箇所があります。引き続き、地域住民の要望を聞きながら、計画的に管理道の崩れ防止対策等の改修が必要となります。年3回以上の用水路内清掃や管理道除草作業、用水路組合役員による定期点検や大水時の緊急点検など、高齢化に伴う用水路管理の負担軽減や安全確保に加え、安定した用水を供給するために、上流・下流を含め、管理上危険な箇所を改修し、改修率の向上を目指します。また、当地域の農業経営を持続するための環境改善の指標として、農業者（13戸）、自治会世帯数（18戸）の維持も目標とします。さらには、農業者に対する聞き取りによる満足度も確認します。   |                 |                        |
| 交付金事業の成果及び評価          | 本交付金を活用し平成28年度は、改修が必要な上流54mの管理道のうち19mを改修し、改修率35％となりました。これにより、用水路管理の負担軽減及び効率化と安全性の向上が実現されましたが、管理上危険な箇所（上流側約35m、下流側約250m）のうち、下流側の約115mの改修が緊急を要するため、引き続き本交付金を活用し管理道等の長期的な改修が必要な状況にあります。平成29年度～平成30年度にかけて、経年による地盤沈下で逆勾配となり、水が流れ難くなっている箇所の用水路改修、用水路からのオーバーフローにより管理道が削られ狭くなっている箇所の管理道整地、用水路の水量調整をする集水桝の水漏れ改修、山側斜面から管理道へ崩れている土砂撤去などの改修を計画的に実施し、平成30年度には改修率77％を成果目標とします。評価については、毎年度事業実施後、成木導流堤用水路組合及び地元自治会・農業者のみなさまへヒアリングを行い、農業用水管理の安全確保と効率化の実現や安定した用水の供給、満足度について確認します。また、平成30年度事業完了後、農業者（13戸）、自治会世帯数（18個）の維持を目標とし、再評価します。  |                 |                        |
|                       |   |                 |                        |
| 契約の目的                 |   | 契約の方法等          | 契約の相手方                 |
| 用水路管理道改修工事            |   | 指名競争入札          | 有限会社 別所土建              |
|                       |   |                 |                        |
|                       |   | 計               | 1,360,800              |
| 成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無 |   | 無               | 交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度 |
|                       |   |                 | 平成31年度                 |